

照の会 京都特別公演 ちかの会

協演・競演
競い合い

浦田保親

MOCHIZUKA

能
望玉月

狂言

口真似 茂山七五三

能
一人静

FUTARISHIZUKA

上田拓司

令和元年9月15日(日) 12:00開演
(11:20開場)

前売 ●指定席7,000円 ●自由席5,000円
●学生席2,500円
当日 ●6,000円(自由席のみ)

●主催:照の会・ちかの会 後援:京都府、公益財団法人京都市芸術文化協会、京都新聞

京都観世会館

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE

令和元年 九月十五日(日) 正午始

照の会
ちかの会
京都特別公演

於・京都観世会館

舞囃子
浦田 親良

大鼓 谷口 正壽
小鼓 曾和 鼓堂

笛 杉 信太郎

地謡

深野 貴彦
大江 信行
杉浦 豊彦
林 宗一郎

お話「二人静のみどころ」

京都府立大学教授
山崎 福之

能

菜摘女
上田 顕崇

里女
静御前
上田 拓司

二人静

勝手宮神主
福王茂十郎
間 神主ノ下人
鈴木 実

大鼓 谷口 正壽
小鼓 曾和 鼓堂

笛 杉 市和

後見

上田 宜照
上田 貴弘
上田 大介

地謡

笠田 祐樹 越賀 隆之
樹下 千慧 浦田 保浩
橋本 光史 片山九郎左衛門
武富 康之 河村 和重

口真似

太郎冠者

茂山七五三

主人
茂山 宗彦
客人
茂山千三郎

狂言

後見 鈴木 実

〈ご挨拶〉

新に令和の時代を迎え、同慶に存じます。
平成年間、「照の会」は平成七年より、「ちかの会」は平成二十四年より続けて参ることができました。これも、多くの方のご後援、お力添えの賜物と、感謝致しております。

さて此の度、初めて合同で「照の会 ちかの会 京都特別公演」を催させて頂きます。変わらぬご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

上田 拓司
浦田 保親

〈あらすじ〉

能「二人静」

吉野の勝手明神の正月七日の神事のために、神職(ワキ)から命を受け若菜摘みに出た女(ツレ)。菜摘川に着くと、どこからか女の霊(前シテ)が現れ、自分の回向を神職にお願いしてくるよう頼みます。女が驚き名を尋ねると、それには答えず、この願いに疑いを持つ者が現れたら、その時は憑依して名を名乗ろうと告げ、姿を消してしまいました。

女が今日の出来事を神職に報告している
と、突然声色が変わります。女は自ら疑いの言葉を発し、憑依されたのです。神職が憑依した霊に名を尋ねると「判官殿に仕えたもの」と、静御前であることを匂わせます。静御前なら舞の名手であるはずと問うと、神社に伝わる静の舞装束を持つてこさせ、それを身に着け舞い始めます。するとその背後に、静御前の姿(後シテ)が現れ、在りし日を思い共に

仕舞

雨月融

大槻 文藏
片山九郎右衛門

地謡

浦田 親良
越賀 隆之
河村 和重
上田 大介

舞囃子

邯鄲 上田 宜照

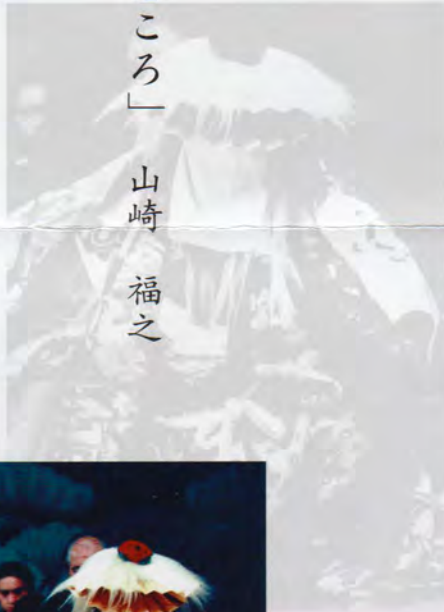
大鼓 山本 哲也
太鼓 前川 光長
小鼓 成田 達志
笛 杉 市和

地謡

上田 顕崇
片山 伸吾
浦田 保浩
橋本 光史

お話「望月のみどころ」

能



山崎 福之

花若 深野 和奏
安田友治ノ妻 深野 貴彦

小沢刑部友房 浦田 保親

望月

古式

間 秋長ノ従者

茂山 逸平

大鼓 山本 哲也
太鼓 前川 光長
小鼓 成田 達志
笛 杉 信太郎

後見

赤松 禎友
大江 信行
武富 康之

地謡

浦田 親良
笠田 祐樹
樹下 千慧
上田 宜照
林 宗一郎
杉浦 豊彦
大槻 文藏
片山 伸吾

附祝言

終了予定 午後五時過ぎ

舞います。そして後の回向を頼んで、静かに消えていきました。

能「望月」

信濃国・安田庄司友治は、同国の住人、望月秋長と口論の末、討たれてしまいます。友治に仕える小沢刑部友房(シテ)は、都にいる時にそれを知らされ、さらに望月の手の者に命を狙われていると聞いて、宿場町・守山に入り込み、甲屋という宿の主人となり、日々を送っていました。

一方で、国を追われ放浪の身となっていた友治の妻(ツレ)と子の花若(子方)は、ある日、守山の宿にたどり着き、甲屋に泊まります。友房は、二人が友治の妻子であると気づき、名乗って再会を喜び合います。するとそこへ偶然、望月秋長の一行が宿を求めてやってきます。友房は天の与えた機会と思いい、友治妻子と仇討ちの計画を立てます。そして妻子を盲目の女芸人一行に仕立てて座敷に上げ、芸を尽し酒を飲ませて油断を誘います。やがて眠気がさした望月を襲い、花若とともに斬り伏せ、仇討ちを遂げます。

狂言「口真似」

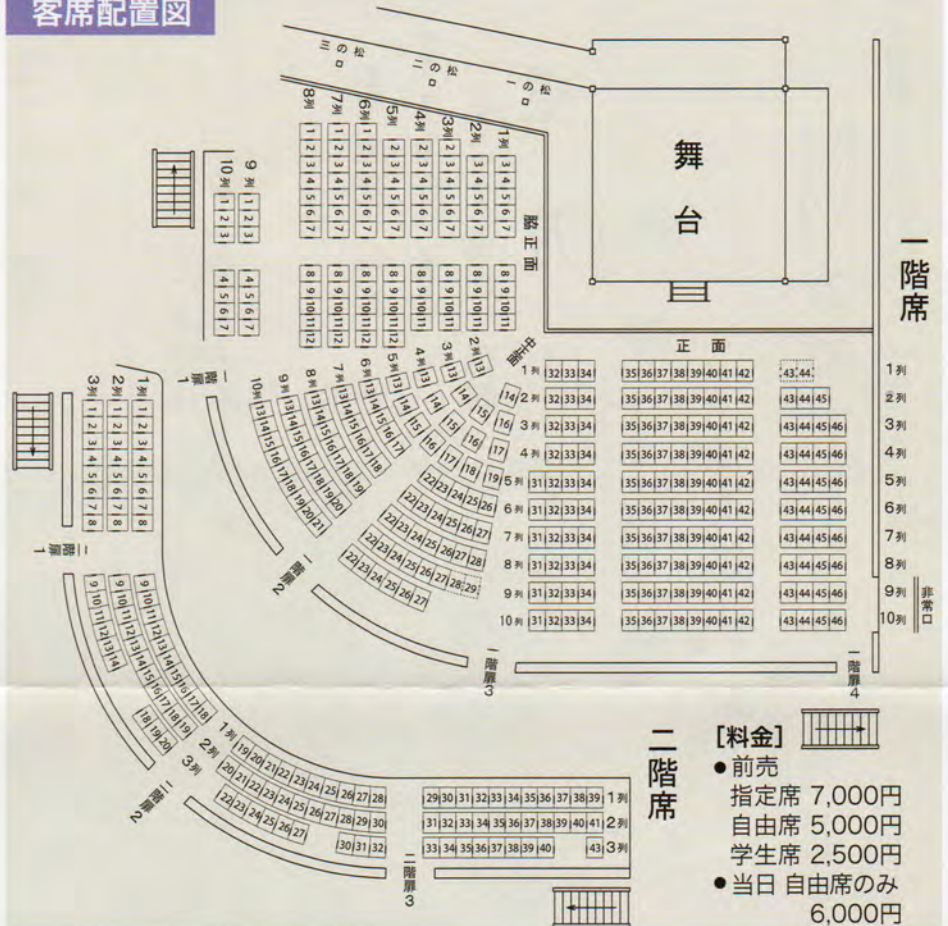
酒の相手を探してこいと命じられた太郎冠者は、渋る顔見知りの人を無理やり連れてきました。しかしその客人は有名な酒乱だったのです。無理に連れてきた手前、主人は冠者に自分のいうとおりに行動するよう命じ、穏やかに帰そうと考えますが……。

京都観世会館

京都市左京区岡崎円勝寺町44
Tel. 075-771-6114



客席配置図



アクセス

バスで……

- 各線京都駅から京都市バス 5、100、京阪三条駅から京都市バス 5 で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車
- 阪急河原町駅から京都市バス 31、46、201、203、206 で「東山仁王門」下車

電車で……

- 各線京都駅、京阪三条駅、阪急四条駅から京都市営地下鉄烏丸線乗車、「烏丸御池」にて東西線に乗り換え「東山」下車 徒歩約5分
- JR山科駅、二条駅から京都市営地下鉄東西線乗車、「東山」下車 徒歩約5分

お問い合わせ・お申し込み

- ◆ 照の会 (夙川能舞台瓦照苑) Tel. 0798-55-7362 / Fax. 0798-55-7363
E-mail. terasu@kanshou.com HP. <http://www.kanshou.com>
〒662-0063 西宮市相生町10-11
- ◆ ちかの会 Tel. / Fax. 075-723-7764
E-mail. info@urachika.com HP. <http://www.urachika.com>
〒603-8084 京都市北区上賀茂土門町30-3
- ◆ 京都観世会館 Tel. 075-771-6114 HP. <http://www.kyoto-kanze.jp>

＜出演者プロフィール＞



上田拓司 (うえだたくじ)

昭和34年 上田照也の次男として神戸に生まれる。
父・照也及び大槻文蔵に師事。
昭和36年 仕舞「養老」にて初舞台。
平成 7年 第1回「照の会」を開催。
平成11年 夙川能舞台「瓦照苑」設立。
平成18年 神戸ブルーメール賞を上田兄弟会にて受賞。
平成20年 文化庁芸術祭新人賞を受賞。
平成24年 文化庁芸術祭優秀賞を受賞。
令和元年 兵庫県功労者表彰。
・夙川能舞台瓦照苑 代表
・株式会社上田観正会能楽堂 取締役
・重要無形文化財総合指定保持者



浦田保親 (うらたやすちか)

昭和42年 浦田保利の次男として京都に生まれる。
父・保利及び大槻文蔵に師事。
昭和45年 仕舞「春米」にて初舞台
昭和52年 能「猩々」にて初シテ
平成 4年 観世流準職分取得
平成 7年 「道成寺」初演
平成 7年 心味の会結成 20年まで活動
平成24年 第一回「ちかの会」を開催
平成30年 大阪文化祭奨励賞を受賞
・公益財団法人 京都観世会理事
・一般社団法人 京都能楽会理事
・重要無形文化財総合指定保持者

照の会

ご案内

2019年度 会員募集

- 会費 1,000円
- 特典 瓦照苑主催の催しでの特別価格。
照の会 神戸・大阪公演 / 一般価格より1000円引き。
<一般価格> 神戸公演 / 席指定無 6000円・席指定有 7000円
大阪公演 / S席7000円・A席6000円・B席5000円
素謡会・舞囃子の会 / 500円引き <一般価格2000円>
- 照の会 神戸・大阪公演入場券先行予約、その他催しのご案内。
(一般の販売より先にご予約を承ります)
- ※会員は入会・更新日より一年間有効。
照の会神戸・大阪公演のチケットも合わせてお申し込み頂けます。

「ゼロから始める大人の謡曲」 入門教室

- 時間 各40分単位
- 費用 3ヶ月 計6回分/6,480円

随時
募集中

次年度 照の会 公演

令和2年

神戸公演 6月14日(日) 能「頼政」上田拓司
能「船弁慶」上田顕崇 他 湊川神社神能殿

大阪公演 10月31日(土) 能「蟬丸 替之型 琵琶之会釈」上田拓司・浦田保親
能「鞍馬天狗」上田宜照 他 大槻能楽堂
※大阪公演は「ちかの会」(主宰:浦田保親)との合同公演。